

工 事 番 号							
設計年度	令和 7 年度		橋梁補修工事(市道大和町大具上線古元橋) 三原市 大和町 大具 <div>仕様書</div>				
施工月日	令和 年 月 日						
施工方法	請 負						
工事期間							
工 事 概 要			起 工 理 由				
橋梁補修 N=1橋 あて板補修工 一式 橋梁塗装工 A=27m2 仮設工 一式							

特記仕様書

第1章 総則

第1節 適用

- 1 本特記仕様書は、三原市大和町 橋梁補修工事(市道大和町大具上線 古元橋)に適用する。
 - 2 本特記仕様書に記載のない事項については、次によるものとする。
 - ・ **土木工事共通仕様書（令和7年8月）広島版（適用区分「広島」及び「広島県」）**
- ※ 土木工事共通仕様書は「広島県の調達情報」に掲載している。
<https://chotatsu.pref.hiroshima.lg.jp/>
・ その他関連規格類

第2節 情報共有システム

本工事は、情報共有システムの対象であり、実施については土木工事共通仕様書1-1-1-25 施工管理「10. 工事情報共有化」に従うこと。

- 1 本工事は受発注者間の情報を電子的に交換・共有することにより、業務の効率化を図る情報共有システムの対象である。まお、運用にあたっては「広島県工事中情報共有システム運用ガイドライン」（以下「ガイドライン」という。）に基づき実施すること。
- 2 本工事で使用する情報共有システムは次とする。
 - 広島県工事中情報共有システム
<https://chotatsu.pref.hiroshima.lg.jp/asp/index.html>
- 3 監督員及び受注者が使用する情報共有サービスのサービス提供者（以下「サービス提供者」という。）との契約は、受注者が行い、利用料を支払うものとする。
- 4 情報共有システムを利用した書類は、決済データ等を整理して中間検査時・工事完成時にCD-R又はDVD-R（中間検査時1部、完成時2部）にて提出すること。
ただし、電磁的記録しない方が合理的な書類は、監督員と協議の上、紙媒体での提出とすることができる。
- 5 情報共有システムを利用した書類の検査は電磁的記録にて検査する。
検査時に必要となる機器は、原則、受注者が準備することとし、検査に必要な電磁的記録は受注者が当該機器に事前に登録するものとする。
- 6 受注者は、監督員及びサービス提供者から技術上の問題点の把握、利用にあたっての評価を行うためアンケート等を求められた場合、協力しなければならない。

第3節 週休2日適用工事等

本工事は、週休2日適用工事等対象外工事とする。

第4節 法令及び条例等の遵守

- 1 次の内容について、施工計画書の「その他」項目に記載すること。
 - (1) 工事の実施にあたり、発注者から明示された、又は、受注者が行うべき「法令及び条例等に基づく各種手続き及び許可承諾条件」
 - (2) 上記(1)の内容について「不測の事態等が生じた場合の対応方法」
 - (3) 上記(1)、(2)の内容について「現場作業に従事する者に対する周知の方法」
- 2 「施工方法」等の関連する項目に、許可承諾条件等を適切に反映すること。
- 3 「法令及び条例等に基づく各種手続き及び許可承諾条件」等の変更が生じた場合は、施工計画書の内容に重要な変更が生じたものとし、変更施工計画書を提出すること。

第2章 施工条件

第1節 塗替塗装工

- 1 既設塗料に含まれる物質
本橋の鋼材部に使用されている塗料の確認のため鉛・六価クロムの試験費を見込んでいる。
試験後含有が判明した場合は適切な塗膜除去方法及び塗膜くず処分を行うこと。
- 2 塗膜除去
塗膜成分試験結果より、鉛が検出された場合、既設塗膜の除去は湿潤化による工法（塗膜剥離剤処理）を行うこと。塗膜剥離においては、保護具等を着用し、十分な換気を行い、作業員の安全を確保すること。また、塗膜くずが、周辺地域に流出しないよう飛散防止措置を行うこと。
- 3 塗膜くず処分
塗膜剥離剤で除去した、有害物質を含む塗膜くずは PCB 無害化処理認定施設で処分すること。

第3章 工事保険等

- 1 工事保険等
受注者は、本工事において第三者に与えた損害を補填する保険又はその他必要とする建設工事に関連する保険等に参加しなければならない。また、加入した保険等については、保険証券の写し（保険以外の場合はそれに代わるもの）を監督員に提出すること。なお、加入に必要な保険料等は、設計で現場管理費に見込んでいる。
- 2 法定外の労災保険 の付保
 - (1) 受注者は、本工事に従事する者の業務上の負傷等に対する補償に必要な金額を担保するための保険契約（以下「法定外の労災保険」という。）を付保しなければならない。
 - (2) 受注者は、建設工事請負契約約款第54条（火災保険等）に基づき、法定外の労災保険の契約締結したときは、その証券又なこれに代わるものを速やかに監督職員に提示しなければならない。
 - (3) 法定外の労災保険は、政府の労働災害補償保険とは別に上乘せ給付等を行うことを目的とするものであり、（公財）建設業福祉共済団、（一社）建設業労災互助会、全日本火災共済協同組合連合会、（一社）全国労働保険事務組合連合会又は保険会社との間で、労働者災害補償保険法に基づいて契約を締結しているものとする。

第4章 その他

本特記仕様書及び設計図書に明示していない事項又は、その内容に疑義が生じた場合は、監督職員の指示を受けること。

工事数量総括表

頁0 -0001

費目・工種明細など	規格1・規格2	単位		数量	備考
本工事費					
橋梁保全工事		式		1	レベル1
橋梁補修工		式		1	レベル2
あて板補修工		式		1	レベル3
あて板補修工		式		1	レベル4
現場塗装工		式		1	レベル2
橋梁塗膜剥離工		式		1	レベル3
清掃・水洗い	清掃・水洗い	m2		27	レベル4
塗膜除去	剥離材塗布・除去	m2		27	レベル4
素地調整	2種ケレン相当	m2		27	レベル4
下塗	無溶剤型さび安定化塗料 2回塗り	m2		54	レベル4
上塗	無機系塗料 2回塗り	m2		54	レベル4
断面修復工	充填工法	式		1	レベル3
充填工法	コンクリート	式		1	レベル4
舗装版切断	コンクリート舗装	m		7	レベル4
コンクリート構造物取壊し	コンクリート	m3		0.1	レベル4
左官工法	ポリマーセメントモルタル	構造物		1	レベル4
付帯工		式		1	レベル2

工事数量総括表

頁0 -0002

費目・工種明細など	規格1・規格2	単位		数量	備考
護岸工		式		1	レベル3
護岸	石積	m2		2	レベル4
構造物撤去工		式		1	レベル2
構造物取壊し工		式		1	レベル3
コンクリート構造物取壊し	コンクリート	m3		0.2	レベル4
運搬・処分	コンクリート	式		1	レベル4
仮設工		式		1	レベル2
足場工		式		1	レベル3
* * 直接工事費 * *					
技術管理費					
技術管理費		式		1	レベル2
技術管理費		式		1	レベル3
塗膜溶出試験		式		1	レベル4
安全費					
安全費		式		1	レベル2
安全費		式		1	レベル3
呼吸用保護具等費用		式		1	レベル4
共通仮設費率分					

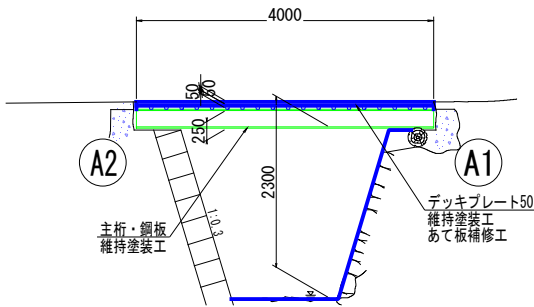
工事数量総括表

頁0 -0003

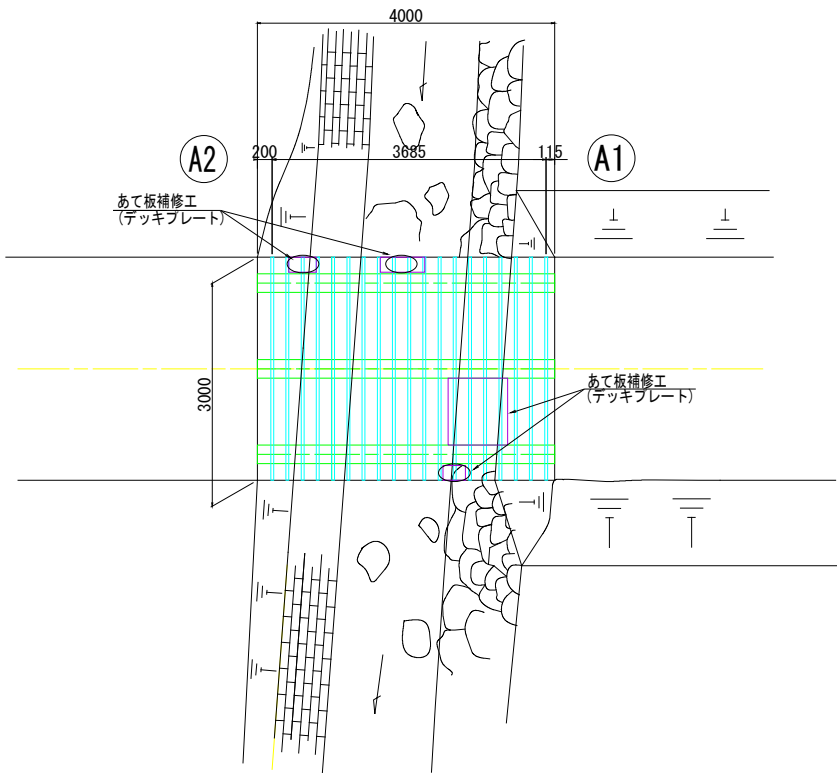
[illegible]

(古元橋) 補修一般図

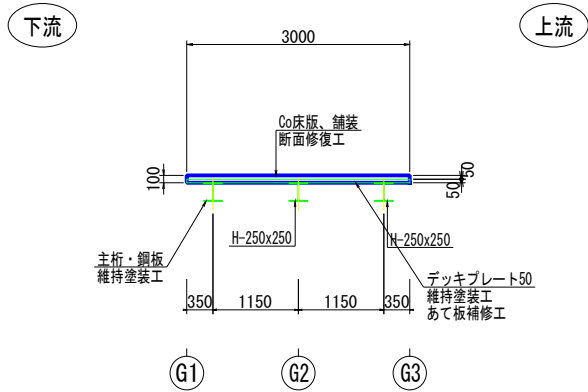
S=1:50



平面図



標準断面図



橋 梁 諸 元	
橋 梁 名	古元橋 (フルモトハシ)
所 在 地	三原市大和町大具
路 線 名	大具上線
架橋年度	1940年
活荷重・等級	不明
上部工形式	単純H型鋼橋
下部工形式	石積橋台、間地ブロック積橋台
基礎工形式	直接基礎
路下条件	河川
橋 長	4.00m
全 幅 員	3.00m
点検履歴	2020年
補修履歴	なし

補修工一覧表

部 位	工 種	
主 桁	維持塗装工 (全面)	さび安定化防錆塗装 (塗膜剥離剤+2種ケレン)
デッキプレート	あて板補修工	デッキプレート敷設、金属パテ塗布
舗 装	断面修復工	
石積護岸	護岸間詰工	

注) 本図面は、既往図面を基にテープやコンベックスを用いて
現地調査を行い、作成したものである。
この図面は実際の図面を約50%に縮小したものである

工 事 名	橋梁補修工事 (市道大和町大具上線 古元橋)		
図 面 名	(古元橋) 補修一般図		
作成年月			
縮 尺	図 示	図面番号	1 / 5
会 社 名			
事業者名	三 原 市		

(古元橋) 補修図 (その1)

S=1:30

(維持塗装工)

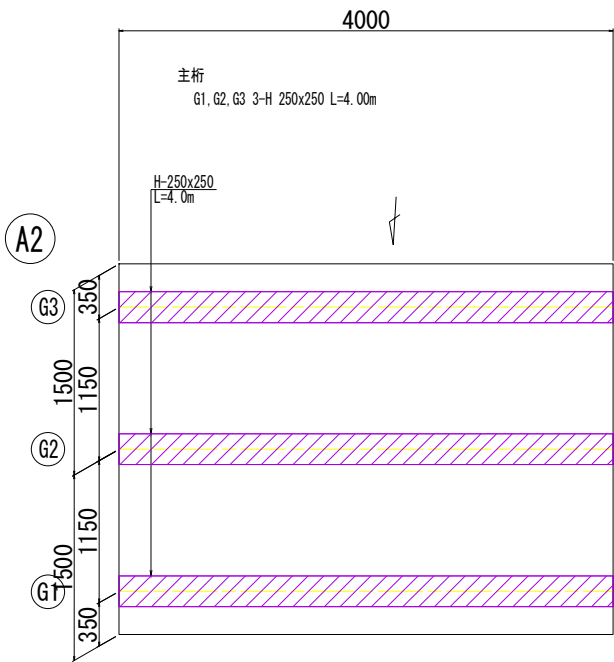
(主桁・デッキプレート)

さび安定化防錆塗装 (塗膜剥離剤+2種ケレン)

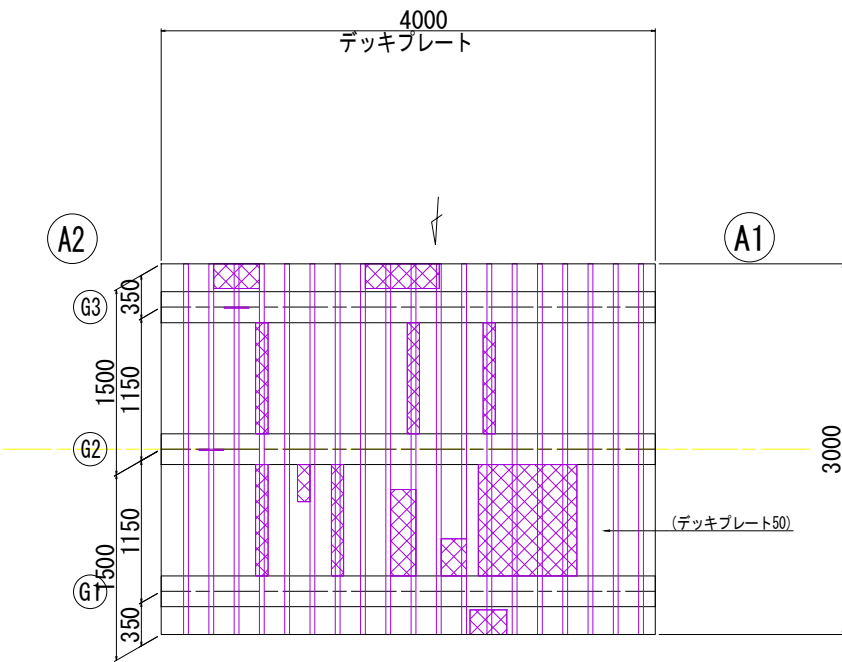
(路面修復工)

(コンクリート舗装)

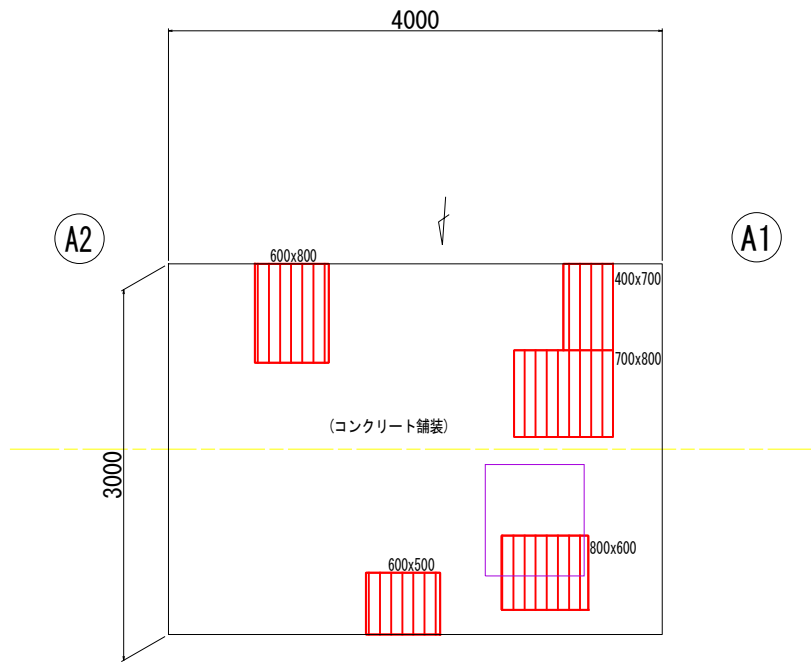
桁 平面図



鋼板 平面図



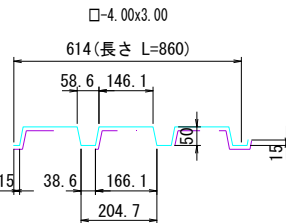
路面 平面図



デッキプレート 形状

S=1:10

(デッキプレート50)



工事名	橋梁補修工事 (市道大和町大具上線 古元橋)		
図面名	(古元橋) 補修図 (その1)		
作成年月			
縮尺	図示	図面番号	2 / 5
会社名			
事業者名	三原市		

この図面は実際の図面を約50%に縮小したものである

凡例

補修	記号
デッキプレート敷設範囲 コンクリート断面修復範囲	

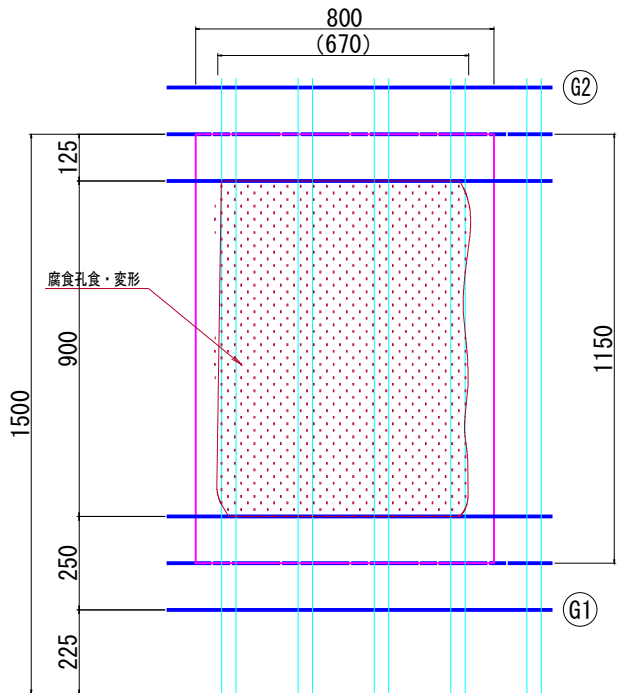
(古元橋) 補修図 (その2)

S=1:10

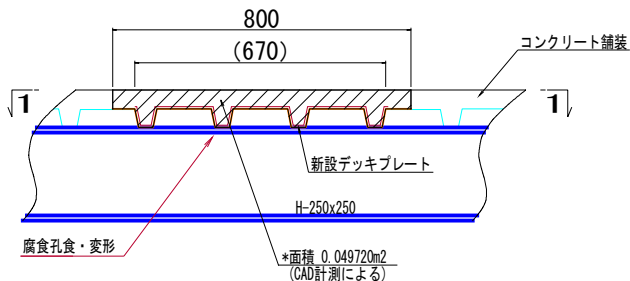
(あて板補修エーデッキプレート敷設)

デッキプレート 腐食状況

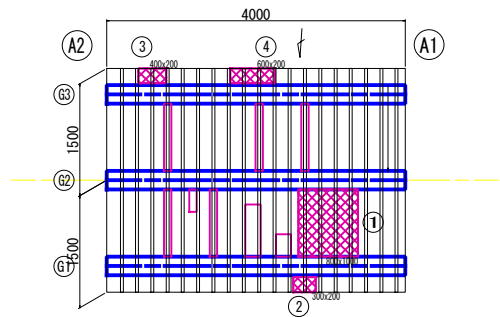
① G1~G2 (A1側) 1-1
800x1000



あて板 補修図

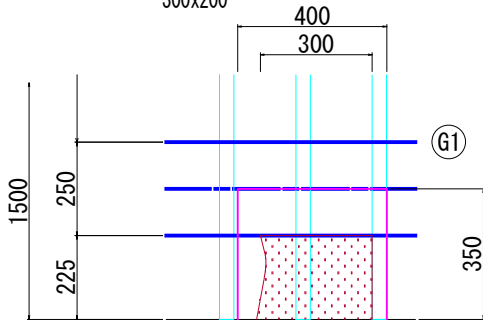


位置図

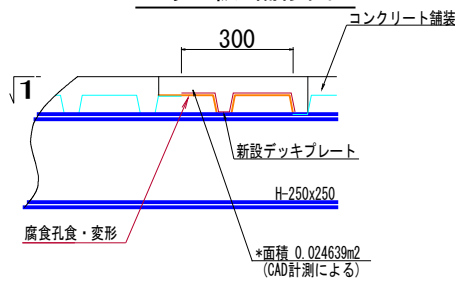


デッキプレート 腐食状況

② G1~G2 (A1側) 300x200

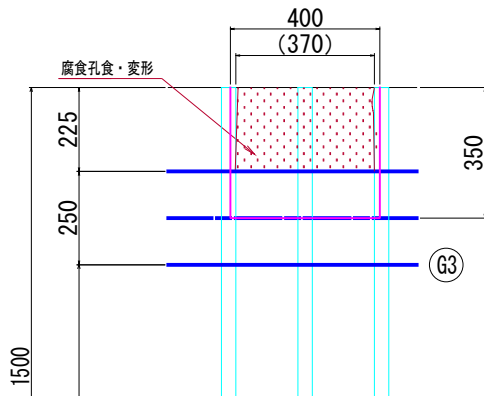


あて板 補修図

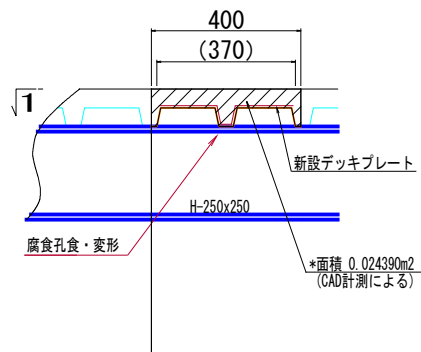


デッキプレート 腐食状況

③ G2~G3 (A1側) 1-1
400x200

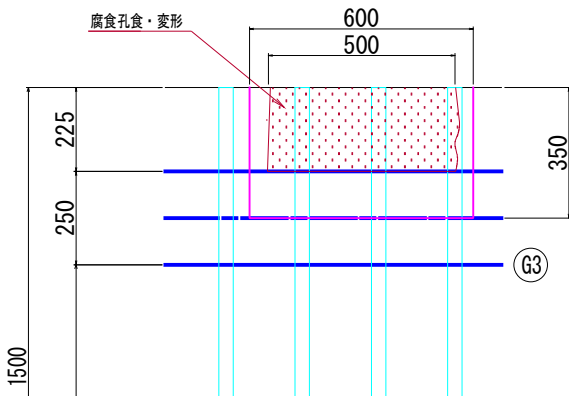


あて板 補修図

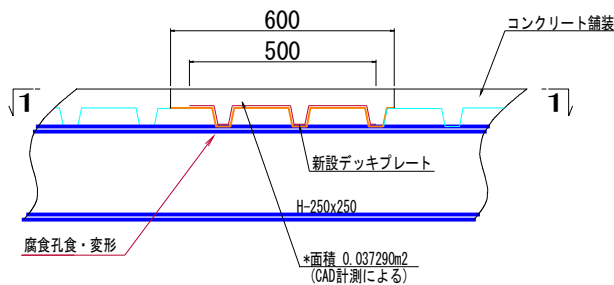


デッキプレート 腐食状況

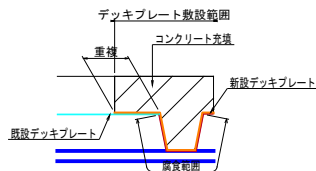
④ G2~G3 (A1側) 1-1
600x200



あて板 補修図



新旧プレートの重複部処理



・新設デッキプレートは、既設プレートと重複して敷設する必要があることから、既設側のカット範囲と新設プレートの寸法に整合をとるようお願いします。

- ※ 1. コンクリート路面にカッターを入れる際は、折下面の損傷部位置を確認の上、用心鉄筋を切断しないように行う。
2. コンクリートのはつり及びデッキプレートを除去した後、新規プレートを切断加工して敷設、溶接を行い固定する。
3. 用心鉄筋を確認してコンクリート打設を行う。
4. ケレン後、補修範囲を再度確認して、腐食凹凸部、腐食孔食部は金属バテにより充填復元を行う。

この図面は実際の図面を約50%に縮小したものである

工事名	橋梁補修工事 (市道大和町大具上線 古元橋)		
図面名	(古元橋) 補修図 (その2)		
作成年月			
縮尺	図示	図面番号	3 / 5
会社名			
事業者名	三原市		

(あて板補修工—金属パテ塗布)

S=1:10

腐食孔食・変形

[illegible]

Figure 1 is a schematic diagram of the test specimen. It shows a cross-section of a concrete slab with a metal mesh reinforcement (metal plate mesh, BT40, 6mm) and a concrete reinforcement layer. The specimen is labeled with dimensions H=250x250 and a scale factor of 1. The diagram also shows the concrete reinforcement layer and the metal mesh reinforcement.

Technical drawing of a stepped profile. The total length is 614 (長さ L=860). The profile consists of several steps with the following dimensions:

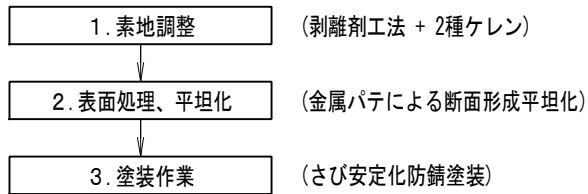
- Top horizontal segments: 58.6, 146.1, 166.1, 204.7
- Vertical segments (heights): 15, 10, 15, 50, 15
- Slanted segments (angles): 51.0°, 51.0°
- Bottom horizontal segments: 38.6, 166.1, 204.7

この図面は実際の図面を約50%に縮小したものである

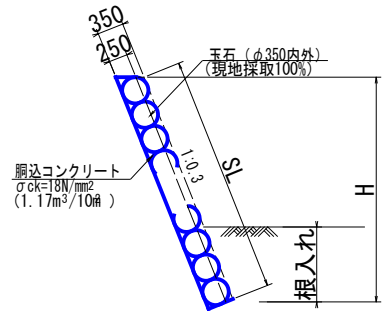
(古元橋) 補修要領図

あて板補修工

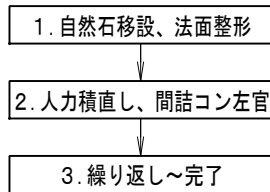
あて板補修工ー金属パテ塗布
フローチャート



護岸間詰工

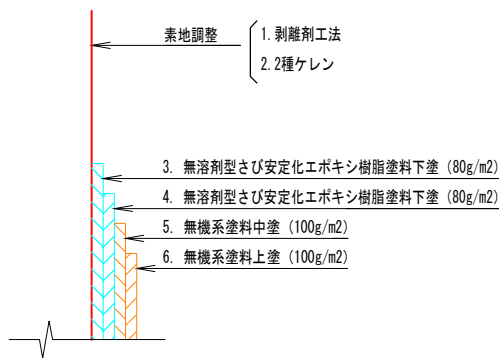


石積間詰工ー(積み直し含)
フローチャート



維持塗装工

塗替え塗装仕様
さび安定化防錆塗装 (塗膜剥離剤+2種ケレン)



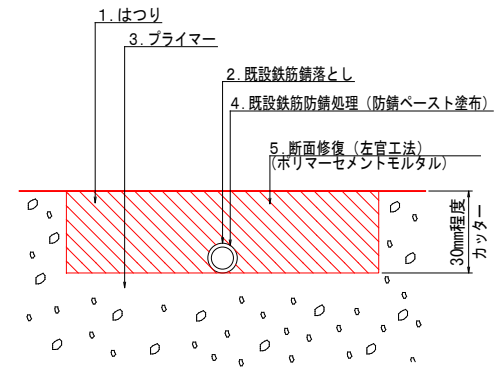
維持塗装工 フローチャート



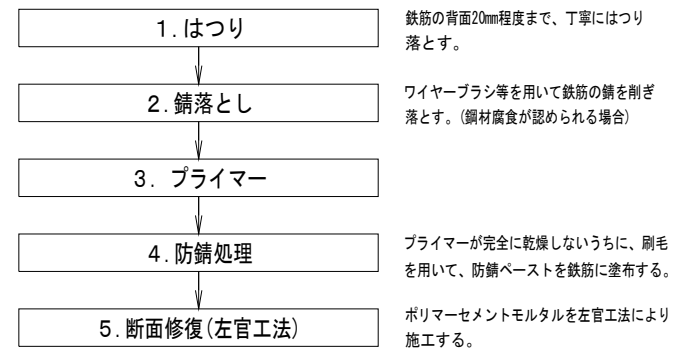
※) ・剥離剤工法の最終決定、使用工法、使用料、回数も含め、
事前の塗膜試験結果や、試験施工により、決定のこと。

断面修復工 (舗装)

※あて板補修工による路面切削は、
補修図 (その2) を参照



断面修復工 フローチャート



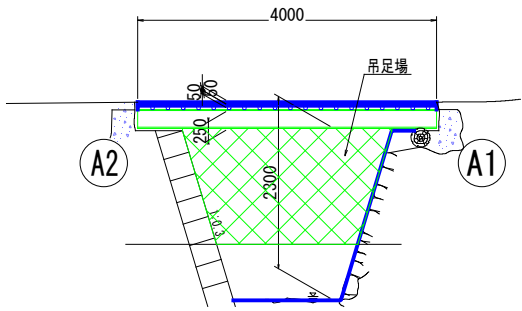
工 事 名	橋梁補修工事 (市道大和町大具上線 古元橋)		
図 面 名	(古元橋) 補修要領図		
作成年月			
縮 尺	図 示	図面番号	5 / 5
会 社 名			
事業者名	三 原 市		

この図面は実際の図面を約50%に縮小したものである

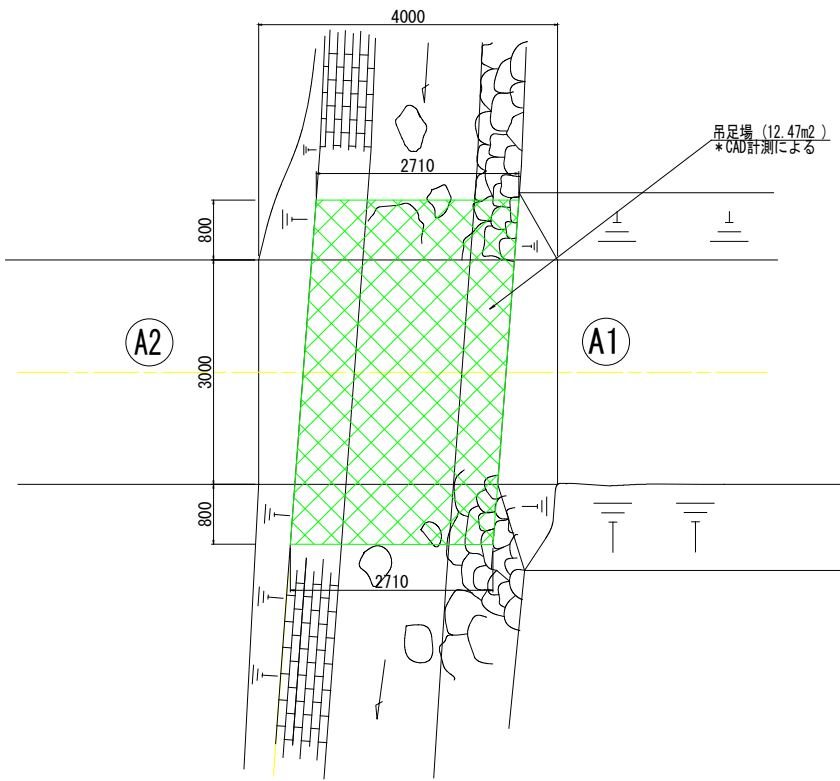
(古元橋) 仮設足場計画(参考図)

S=1:50

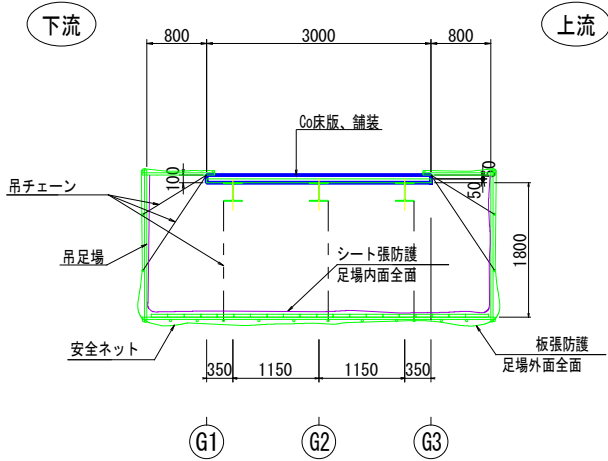
側面図 (道路CL)



平面図



標準断面図



吊足場

注) 本図面は、既往図面を基にテープやコンベックスを用いて
現地調査を行い、作成したものである。

この図面は実際の図面を約50%に縮小したものである

工 事 名	橋梁補修工事 (市道大和町大具上線 古元橋)		
図 面 名	(古元橋) 仮設足場計画(参考図)		
作成年月			
縮 尺	図 示	図面番号	1 / 1
会 社 名			
事業者名	三 原 市		

参 考 資 料

総括情報表

変更回数 適用単価地区 単価適用日	0 48 三原市(大和) 00-07.10.01(0)	凡例 Co … コンクリート As … アスファルト DT … ダンプトラック BH … バックホウ CC … クローラクレーン TC … トラッククレーン RTC… ラフテレーンクレーン
諸経費体系	1 公共(一般)	
	当世代	前世代
工種	41 橋梁保全工事	
施工地域・工事場所区分	00 補正なし	
復興補正区分	00 補正なし	
週休補正区分	00 補正なし	
現場事務所等の貸与区分	00 補正なし	
I C T補正区分	00 補正なし	
冬期補正係数	00 補正なし	
緊急工事区分	00 通常工事 0 %	
前払金支出割合区分	00 補正無し	
契約保証区分	01 金銭的保証(0.04%)	
建設技能労働者や交通誘導員等の現場労働者にかかる経費として、労務費のほか各種経費（法定福利費の事業者負担額，労務管理費，安全訓練等に要する費用等）が必要であり，本積算ではこれらを現場管理費等の一部として率計上している。		

本工事費 内訳表

頁0 -0002

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
本工事費					X1000
橋梁保全工事					Y1G03 レベル1
橋梁補修工	1	式			Y1G0324 レベル2
あて板補修工	1	式			Y1G032403 レベル3
あて板補修工	1	式			Y1G03240301 レベル4
あて板補修工	1	式			F000000600 00
現場塗装工	1	式			Y1G0325 レベル2
橋梁塗膜剥離工	1	式			Y1G032501 レベル3
清掃・水洗い 清掃・水洗い	1	式			Y1G03250201 レベル4
	27	m2			

本工事費 内訳表

頁0 -0003

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
塗替塗装 清掃・水洗い	27	m2			SDT00029 00 単第0 -0001 表
塗膜除去 剥離材塗布・除去	27	m2			Y1G03250101 レベル4
塗膜剥離材塗布・除去 ベンジルアルコールフリー	27	m2			V000000100 00 単第0 -0002 表
廃材回収・積込	27	m2			F000000900 00
塗膜除去 廃材の収集・運搬	1	車			F0000000013 00
【直接工事費に含まれる処分費等】 「処分費等」の取扱いによる					#0041
産業廃棄物焼却溶融処分 特管汚泥（橋梁塗膜）	29	kg			F000001000 00
素地調整 2種ケレン相当	27	m2			Y1G03250101 レベル4
素地調整 2種ケレン相当	27	m2			F000001100 00

本工事費 内訳表

頁0 -0004

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
下塗 無溶剤型さび安定化塗料 2 回塗り	54	m2			Y1G03250102レベル4
下塗り（ 1 回目） 無溶剤型さび安定化塗料	27	m2			F000001200 00
下塗り（ 2 回目） 無溶剤型さび安定化塗料	27	m2			F000001300 00
上塗 無機系塗料 2 回塗り	54	m2			Y1G03250104レベル4
上塗り（ 1 回目） 無機系塗料	27	m2			F000001400 00
上塗り（ 2 回目） 無機系塗料	27	m2			F000001500 00
断面修復工 充填工法	1	式			Y1G032405 レベル3
充填工法 コンクリート	1	式			Y1G03240501レベル4
型枠 一般型枠 鉄筋・無筋構造物	0.1	m2			SPK25040159 00

単第0 -0003 表

本工事費 内訳表

頁0 -0005

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
コンクリート 無筋・鉄筋構造物 18-8-40BB 人力打設	0.1	m3			SPK25040157 00 単第0 -0004 表
舗装版切断 コンクリート舗装	7	m			Y1G03270603 レベル4
舗装版切断 コンクリート舗装版 コンクリート舗装版厚15cm以下	7	m			SPK25040307 00 単第0 -0005 表
コンクリート構造物取壊し コンクリート	0.1	m3			Y1G03270601 レベル4
構造物とりこわし工(無筋構造物) 人力施工	0.1	m3			SDT00031 00 単第0 -0006 表
左官工法 ポリマーセメントモルタル	1	構造物			Y1G03240501 レベル4
断面修復工(左官工法) (鉄筋ケレン・鉄筋防錆処理を含まない) 修復延べ体積0.1m3未満の場合	1	構造物			S1020043 00 単第0 -0007 表
付帯工	1	式			Y1G0326 レベル2
護岸工	1	式			Y1G032601 レベル3

本工事費 内訳表

頁0 -0006

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
護岸 石積	2	m2			Y1G03260101 レベル4
石積(練石)(複合) 雑割石 直高1.0m以上1.5m以下 18-8-40BB RC-40	2	m2			SPK25040062 00 単第0 -0008 表
構造物撤去工	1	式			Y1G0327 レベル2
構造物取壊し工	1	式			Y1G032706 レベル3
コンクリート構造物取壊し コンクリート	0.2	m3			Y1G03270601 レベル4
構造物とりこわし工(無筋構造物) 人力施工	0.2	m3			SDT00031 00 単第0 -0006 表
運搬・処分 コンクリート	0.2	m3			Y1G03270602 レベル4
殻運搬 Co(無筋)構造物とりこわし D1D区間無し 運搬距離10.9km以下(8.0km超)	0.2	m3			SPK25040155 00 単第0 -0009 表
【直接工事費に含まれる処分費等】 「処分費等」の取扱いによる					#0041

本工事費 内訳表

頁0 -0007

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
コンクリート殻受入費					F000004000 00
仮設工	0.2	m3			Y1G0328 レベル2
足場工	1	式			Y1G032810 レベル3
塗装足場 桁高1.5m未満	1	式			Y1A04120103レベル4
足場工(床版補強工) 桁高1.5m未満	13	m2			S3030011 00
防護工(床版補強工) シート張防護工 両側朝顔	13	m2			単第0 -0010 表 S3030015 00
塗膜剥離剤工用養生シート(中段足場無) 18m ²	13	m2			単第0 -0011 表
	1	式			F000001700 00
* * 直接工事費 * * #0020計=支給品等(材料),無償貸付					
技術管理費					Z0006

本工事費 内訳表

頁0 -0008

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
技術管理費	1	式			YZZ06 レベル2
技術管理費	1	式			YZZ06001 レベル3
塗膜溶出試験	1	式			YZZ06001001 レベル4
溶出試験 PCB、六価クロム、鉛	1	式			F000001900 00
安全費	1	式			Z0009
安全費	1	式			YZZ09 レベル2
安全費	1	式			YZZ09001 レベル3
呼吸用保護具等費用	1	式			YZZ09001002 レベル4
安全衛生防護具費	1	式			F000001600 00

本工事費 内訳表

頁0 -0009

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
共通仮設費率分					Z0019
計算情報..... 対象額..... 率.....					
* * 共通仮設費計 * *					
* * 純工事費 * *					
現場管理費					
計算情報..... 対象額..... 率.....					
* * 工事原価 * *					
一般管理費率分					前払補正率...
計算情報..... 対象額..... 率.....					
契約保証費					当初請対額 当初対象額
一般管理費計					

本工事費 内訳表

頁0 -0010

[illegible]

施工単価表

頁0 -0011

塗替塗装
清掃・水洗い

SDT00029

單第0 -0001 表

1

m2 当り

[illegible]

施工単価表

頁0 -0012

塗膜剥離材塗布・除去
ベンジルアルコールフリー

V000000100

單第0 -0002 表

1

m2 当り

[illegible]

施工単価表

型枠
一般型枠
機械構成比: 0.00%

SPK25040159
鉄筋・無筋構造物
労務構成比: 100.00%

材料構成比: 0.00%

市場単価構成比: 0.00%

単第0 -0003 表

1
標準単価:

m2 当り
10,100.00000

代表機労材規格(積算地区)		構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)		単価(東京地区)	備考
型わく工		46.66%		型わく工			RTPC00010 RTPT00010
普通作業員		25.14%		普通作業員			RTPC00002 RTPT00002
土木一般世話役		9.51%		土木一般世話役			RTPC00009 RTPT00009
その他(労務)				その他(労務)			ER009
積算単価				積算単価			EP001
A=1 C=1	一般型枠 -(全ての費用)			B=1	鉄筋・無筋構造物		

施工単価表

頁0 -0014

コンクリート

SPK25040157

単第0 -0004 表

無筋・鉄筋構造物 18-8-40BB

人力打設

1

m3 当り

機械構成比: 0.00% 労務構成比: 36.06% 材料構成比: 63.94% 市場単価構成比: 0.00% 標準単価: 34,148.00000

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
普通作業員	21.19%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
特殊作業員	6.54%		特殊作業員		RTPC00001 RTPT00001
土木一般世話役	5.90%		土木一般世話役		RTPC00009 RTPT00009
その他(労務)			その他(労務)		ER009
レディーミクストコンクリート指定品 呼び強度18,スランプ8,粗骨材40 W/C(60%),種別(高炉)	63.94%		生コンクリート 高炉 24-12-25(20) W/C 55%		TTPCD0010 TTPT00343
積算単価			積算単価		E9999
A=1 無筋・鉄筋構造物 C=2 18-8-40BB H=1 現場内小運搬有り K=1 -(全ての費用)			B=3 人力打設 F=2 一般養生 J=1 -		

施工単価表

頁0 -0015

舗装版切断

SPK25040307

単第0 -0005 表

コンクリート舗装版

コンクリート舗装版厚15cm以下

1 m 当り

機械構成比: 13.11%

労務構成比:

50.94%

材料構成比: 35.95%

市場単価構成比: 0.00%

標準単価:

1,264.80000

代表機材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
コンクリートカッター バキューム式(超低騒音型)・湿式 切削深20cm級ブレード径 56cm	8.92%		コンクリートカッター バキューム式(超低騒音型)・湿式 切削深20cm級ブレード径 56cm		MTPC00164 MTPT00164
その他(機械)			その他(機械)		EK009
特殊作業員	17.37%		特殊作業員		RTPC00001 RTPT00001
土木一般世話役	9.50%		土木一般世話役		RTPC00009 RTPT00009
普通作業員	7.79%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
その他(労務)			その他(労務)		ER009
コンクリートカッターブレード 自走式切断機用 径45cm(18インチ)	32.35%		コンクリートカッターブレード 径18インチ		TTPC00394 TTPT00394
ガソリン,レギュラー スタンド渡し,スタンド給油	2.45%		ガソリンレギュラースタンド		TTPC00014 TTPT00014
その他(材料)			その他(材料)		EZ009

施工単価表

頁0 -0016

鋪裝版切断

SPK25040307

單第0 -0005 表

コンクリート舗装版

コンクリート舗装版厚15cm以下

1 m 当り

機械構成比: 13.11%

勞務構成比：

50.94%

材料構成比: 35.95%

市場単価構成比: 0.00%

標準単価：

1,264.80000

[illegible]

施工単価表

頁0 -0017

構造物とりこわし工(無筋構造物)

SDT00031

單第0 -0006 表

1

m3 当り

人力施工

[illegible]

施工単価表

頁0 -0018

断面修復工(左官工法)
(鉄筋ケレン・鉄筋防錆処理を含まない)

S1020043

單第0 -0007 表

1

構造物 当り

修復延べ体積0.1m3未満の場合

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
土木一般世話役	2.400	人			
特殊作業員	4.500	人			
普通作業員	2.300	人			
ポリマーセメントモルタル	0.074	m3			
諸雑費	6	%			#09
*** 単位当たり ***	1	構造物			
A=4 【F】断面修復材 (m3)			B=0.063	断面修復材の設計数量 (m3/構造物)	

施工単価表

頁0 -0019

石積(練石)(複合)

SPK25040062

単第0 -0008 表

雑割石 直高1.0m以上1.5m以下

18-8-40BB RC-40

1

m2 当り

機械構成比: 4.46%

労務構成比:

65.88%

材料構成比:

29.66%

市場単価構成比:

0.00%

標準単価:

25,809.00000

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
<賃>バックハウ(クローラ型クレーン機能付) 山積0.28m3(平積0.2)吊能力1.7t 排出ガス対策型(第1,2,3次基準値)低騒音	4.46%		バックハウ クローラ型 クレーン機能付1.7t 山積0.28m3(平積0.2m3)		KTPC00019 KTPT00019
普通作業員	34.04%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
運転手(特殊)	16.69%		運転手(特殊)		RTPC00006 RTPT00006
石工	8.51%		石工		RTPC00017 RTPT00017
特殊作業員	3.86%		特殊作業員		RTPC00001 RTPT00001
その他(労務)			その他(労務)		ER009
レディーミクストコンクリート指定品 呼び強度18,スランプ8,粗骨材40 W/C(60%),種別(高炉)	26.09%		生コンクリート 高炉 18-8-25(20) W/C 60%		TTPCD0010 TTPT00003
軽油 パトロール給油,2~4KL積載車給油	2.15%		軽油パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013
再生クラッシャラン 40~0mm	1.42%		再生クラッシャーラン RC-40		TTPC00008 TTPT00008

施工単価表

頁0 -0020

石積(練石)(複合)

SPK25040062

單第0 -0008 表

雜割石 直高1.0m以上1.5m以下

18-8-40BB RC-40

1

m2 当り

機械構成比: 4.46% 労務構成比:

65.88%

材料構成比: 29.66%

市場単価構成比: 0.00%

標準単価：

25,809.00000

[illegible]

施工単価表

殻運搬
Co(無筋)構造物とりこわし
機械構成比: 40.77% 労務構成比: 44.82% 材料構成比: 14.41% 市場単価構成比: 0.00%

SPK25040155
DID区間無し 運搬距離10.9km以下(8.0km超)

単第0 -0009 表
1
標準単価: 1,790.50000
m3 当り

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
ダンプトラック[オンロード・ディーゼル] 10t積級 (タイヤ損耗費及び補修費(良好)を含む)	40.77%		ダンプトラック[オンロード・ディーゼル] 10t積級 (タイヤ損耗費及び補修費(良好)を含む)		MTPC00018T1 MTPT00018T1
運転手(一般)	44.82%		運転手(一般)		RTPC00007 RTPT00007
軽油 パトロール給油,2~4KL積載車給油	14.41%		軽油パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013
積算単価			積算単価		EP001
A=1 Co(無筋)構造物とりこわし C=1 DID区間無し E=1 -(全ての費用)			B=1 機械積込 D=44 運搬距離10.9km以下(8.0km超)		

施工単価表

頁0 -0022

足場工(床版補強工)

S3030011

單第0 -0010 表

桁高1.5m未滿

1

m2 当り

[illegible]

施工単価表

頁0 -0023

防護工（床版補強工）

S3030015

單第0 -0011 表

シート張防護工

両側朝顔

1

m2 当り

[illegible]

数量計算書

補修橋補修数量計算 古元橋

§ 1 補修数量総括表

工 種	種 別	細 別	規 格	単位		鋼桁	デッキ プレート	合計
あて板補修工	金属パテ			重量	kg	—	1.795	1.795
	デッキプレート	デッキ構造スラブ用	V50	重量	kg	—	18.894	18.894
	近接計測工			面積	m ²	—	2.090	2.09
	水洗工			面積	m ²	—	2.090	2.09
	芯出し調整工			面積	m ²	—	2.090	2.09
維持塗装工	Rc-I系	素地調整	剥離剤工法	面積	m ²	14.49	12.61	27.10
			2種ケレン	〃	〃	14.49	12.61	27.10
		無溶剤型さび安定化塗料	80g/m ²	面積	m ²	14.49	12.61	27.10
			80g/m ²	面積	m ²	14.49	12.61	27.10
		無機系塗料中塗り	100g/m ²	面積	m ²	14.49	12.61	27.10
			100g/m ²	面積	m ²	14.49	12.61	27.10
仮設工	吊足場	桁高 h<1.5m	板張り防護 シート張り防護	面積	m ²	—	—	12.47

塗膜除去工	水洗い			面積	m ²	→	27.100	27.100
	湿式塗膜剥離工 湿式塗膜剥離剤工法			面積	m ²	→	27.100	27.100
	湿式塗膜剥離剤（1回） 湿式塗膜剥離剤工法			重量	kg	→	28.890	28.890
	廃材の回収・積込（1回）			面積	m ²	→	27.000	27.000
	剥離剤および塗料かす運搬工			重量	t	→	0.029	0.029
	剥離剤および塗料かす積込み・荷卸し			重量	t	→	0.029	0.029
	廃塗膜処分			重量	t	→	0.029	0.029
	安全衛生防護具			重量	式	→	1	1

断面修復工 充填工法	充填工法	コンクリート18N/mm2		体積	m ³	—	0.088	0.088
	型枠工	鉄筋		面積	m ²	—	0.130	0.130
	Co版切断	鉄筋	t=10cm	長さ	m	—	7.400	7.400
	構造物とりこわし工	鉄筋	人力	体積	m ³	—	0.088	0.088
	殻運搬	がれき類	コンクリート殻	体積	m ³	※構造物撤去工にて計上		
	殻処分	がれき類	コンクリート殻	体積	m ³	※構造物撤去工にて計上		
				重量	t	※構造物撤去工にて計上		

断面修復工 修復工法	左官工法	鉄筋ケレン・防錆処理含まない		体積	m ³	—	0.063	0.063
	断面修復材	ポリマーセメントモルタル		体積	m ³	—	0.074	0.074
	Co版切断	鉄筋	t=3cm	長さ	m	—	10.800	10.800
	はつり工	鉄筋	人力	体積	m ³	—	0.063	0.063
	殻運搬	がれき類	コンクリート殻	体積	m ³	※構造物撤去工にて計上		
	殻処分	がれき類	コンクリート殻	体積	m ³	※構造物撤去工にて計上		
				重量	t	※構造物撤去工にて計上		

工 種	種 別	細 別	規 格	単位		右岸	左岸	合計
護岸工	石積工	練積み、積直し	自然石30cm内外	面積	m ²	—	1.800	1.800
	胴込コン	無筋	18N/mm2	体積	m ³	—	0.211	0.211

工 種	種 別	細 別	規 格	単位		鋼桁	デッキ プレート	合計
構造物撤去工	構造物取壊し工	取壊し工	鉄筋構造物・人力	体積	m ³	→	0.150	0.150
	運搬処理工	殻運搬	コンクリート構造物	体積	m ³	→	0.150	0.150
		殻処分	コンクリート殻	体積	m ³	→	0.150	0.150
		殻処分	コンクリート殻	重量	t	→	0.360	0.360

§ 2. あて板補修工

2-1. G1,G2,G3桁間

2-1-1. (補修材数量)

(1) 金属パテ (デッキプレート孔食部)

・床版下面全体

a. 体積 (孔食・欠損 部分)		デッキプレート板厚			
200X300	v1= 0.060 m ² * CAD計測による	×	0.0012	=	0.000072 m ³
200X700	v1= 0.140 m ² * CAD計測による	×	0.0012	=	0.000168 m ³
100X300	v1= 0.030 m ² * CAD計測による	×	0.0012	=	0.000036 m ³
100X900	v1= 0.090 m ² * CAD計測による	×	0.0012 × 5箇所	=	0.000540 m ³

$$\Sigma V = 0.000816 \text{ m}^3$$

b. 重量 (孔食・欠損 部分) (比重2.2t/m³)

$$w = 0.000816 \text{ m}^3 \times 2200 \text{ kg/m}^3 = 1.795 \text{ kg}$$

(2) あて板 (デッキプレート、t=1.2mm) 単位重量= 13.40 kg/m² (メッキなし)

・床版下面全体

・1-PL 800×1150×1.2

$$800 \times 1000 \quad w1 = 0.920 \text{ m}^2 * \text{CAD計測による} \times 13.4000 = 12.3280 \text{ kg}$$

・1-PL 400×350×1.2

$$300 \times 200 \quad w1 = 0.140 \text{ m}^2 * \text{CAD計測による} \times 13.4000 = 1.8760 \text{ ''}$$

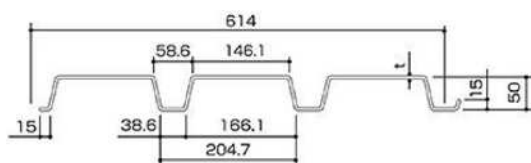
・1-PL 400×9×125 (SM400)

$$400 \times 200 \quad w1 = 0.140 \text{ m}^2 * \text{CAD計測による} \times 13.4000 = 1.8760 \text{ ''}$$

・1-PL 400×9×125 (SM400)

$$600 \times 200 \quad w1 = 0.210 \text{ m}^2 * \text{CAD計測による} \times 13.4000 = 2.8140 \text{ ''}$$

$$\Sigma W = 18.894 \text{ kg}$$



(デッキ構造スラブ用V50)

2-1-2. (近接計測工)

2-1-1 補修材数量より

$$A = 0.060 + 0.140 + 0.030 + 0.090 \times 5 \text{箇所} + 0.920 \\ + 0.140 + 0.140 + 0.210 = 2.090 \text{ m}^2$$

2-1-3. (水洗工)

$$A = 2.090 \text{ m}^2$$

2-1-4. (芯出し調整工)

$$A = 2.090 \text{ m}^2$$

2-1-5. (維持塗装工)

※ 維持塗装工を参照

2-2. あて板補修工 集計表

区 分	種 別	材 質	寸 法	単位	数量	摘 要
金属パテ	金属補修材			m ³	0.000816	
デッキプレート	PL	JISG3352		kg	18.89	
近接計測工				m ²	2.090	
水洗工				m ²	2.09	
芯出し調整工				m ²	2.09	

§ 3. 維持塗装工

3-1. 維持塗装工（鋼桁、鋼板、デッキプレート）

(1) 鋼 桁

箇所	形状	計 算 式			Net	面数	個数	面積 (m ²)	備 考
		塗装面積 (m ² /kg)	× 単位重量 (kg/m)	× 長さ (m)					
H-250x250	H	0.0203	×	71.8	×	4.000		17.49	G1, G2, G3桁
天端 除外		H250-	0.250	×	4.000		1	3	-3.00
小 計						Σ	=	14.49	m ²

(2) デッキプレート

・ □-3.00x4.00 波板と平板の比率 $q = 0.86/0.614 = 1.401$

$$a1 = 3.000 \times 4.000 \times 1.401 = 16.812 \text{ m}^2$$

$$\text{主桁上面控除 } a2 = 0.250 \times 4.000 \times 1.401 \times 3 = -4.203 \text{ ''}$$

$$\Sigma A = 12.61 \text{ m}^2$$

3-2. 維持塗装工集計表：さび安定化防錆塗料

（剥離剤工法+2種ケレン）

仕 様	単位	鋼 桁	デッキプレート	合 計
素地調整（剥離剤工法+2種ケレン）	m ²	14.49	12.61	27.10
無溶剤型さび安定化塗料(80g/m2)	m ²	14.49	12.61	27.10
無溶剤型さび安定化塗料(80g/m2)	m ²	14.49	12.61	27.10
無機系塗料中塗り(100g/m2)	m ²	14.49	12.61	27.10
無機系塗料上塗り(100g/m2)	m ²	14.49	12.61	27.10

3-3. 塗膜除去工

3-3-1. 湿式塗膜剥離工(鋼桁、デッキプレート)

・維持塗装工より

(1) 鋼 桁

$$a1 = 14.490 \text{ m}^2$$

デッキプレート #

$$a2 = 12.610 \text{ m}^2$$

$$\Sigma A = 27.10 \text{ m}^2$$

(2) 水洗い

$$a = 27.10 \text{ m}^2$$

(3) 湿式塗膜剥離剤 (1回) (湿式塗膜剥離剤工法 標準塗布量 : 1.0kg/m²)

(鋼桁、デッキプレート)

$$w1 = 27.100 \times 1.0 \text{ kg/m}^2 = 27.000 \text{ kg}$$

$$w2 = 27.000 \times 0.07 = 1.890 \text{ kg}$$

ロス率7%

$$\Sigma W = 28.890 \text{ kg}$$

(4) 廃材の回収・積込 (1回)

(鋼桁、デッキプレート)

$$A = 27.100 = 27.000 \text{ m}^2$$

(5) 剥離剤および塗料かす運搬工

1) 湿式剥離剤かす

$$W = 28.890 / 1000 = 0.029 \text{ t}$$

(6) 剥離剤および塗料かす積込み・荷卸し

$$W = 0.029 \text{ t}$$

3-3-2. 廃塗膜処分

$$W = 0.029 \text{ t}$$

3-3-3. 安全衛生防護具

$$N = 1 \text{ 式}$$

仕 様	単位	鋼 桁
水洗い	m ²	27.10
湿式塗膜剥離工	m ²	27.10
湿式塗膜剥離剤 (1回)	kg	28.89
廃材の回収・積込 (1回)	m ²	27.00
剥離剤および塗料かす運搬工	t	0.029
剥離剤および塗料かす積込み・荷卸し	t	0.029
廃塗膜処分	t	0.029
安全衛生防護具	式	1.00

§ 4. 断面修復工（充填工法）

4-1. 補修図（その1～3）より

(1) 充填工法 (コンクリート18N/mm²)

$$V = 0.088 = 0.088 \text{ m}^3$$

(2) 型枠工 (一般型枠 鉄筋コンクリート)

$$A = (0.300 + 0.400 + 0.600) \times 0.100 = 0.130 \text{ m}^2$$

(3) コンクリート版切断 (t=15cm以下)

$$L = 3.900 + 1.100 + 1.100 + 1.300 = 7.400 \text{ m}$$

(4) 構造物とりこわし工 (※ 構造物取壊し工にて計上)

(t=100mm) 鉄筋構造物 人力施工

(800X1000)	a1 =	0.049720	×	1.150	=	0.057 m ³
(300X200)	a2 =	0.024639	×	0.350	=	0.009 m ³
(400X200)	a3 =	0.024390	×	0.350	=	0.009 m ³
(600X200)	a4 =	0.037290	×	0.350	=	0.013 m ³
					<hr/>	
					Σ	0.088 m ³

(5) 殻運搬 (※ 運搬処理工にて計上)

コンクリート構造物

$$V = 0.088 \text{ m}^3$$

※ 殻数量は、断面修復数量と同量と仮定した。

(6) 殻処分 (がれき類) (※ 運搬処理工にて計上)

$$V = 0.088 = 0.088 \text{ m}^3$$

$$W = 0.088 \times 2.35 \text{ t/m}^3 = 0.207 \text{ t}$$

§ 5. 断面修復工 数量計算

5-1. 舗装工

5-1-1. 路面(コンクリート)

(1) 剥離・欠損 ・補修深さ $t = 30 \text{ mm}$ とする。

■断面修復工面積・体積

補修箇所	横 (m)	×	縦 (m)	×	箇所 (個)	=	面積 (m^2)	カッター延長 (m)	面積 (m^2)	×	深さ (m)	=	体積 (m^3)	備考
路面	0.60	×	0.80	×	1	=	0.480	2.000	0.480	×	0.03	=	0.0144	
〃	0.40	×	0.70	×	1	=	0.280	1.400	0.280	×	0.03	=	0.0084	
〃	0.70	×	0.80	×	1	=	0.560	3.000	0.560	×	0.03	=	0.0168	
〃	0.80	×	0.60	×	1	=	0.480	2.800	0.480	×	0.03	=	0.0144	
〃	0.60	×	0.50	×	1	=	0.300	1.600	0.300	×	0.03	=	0.0090	
合計	5						2.100	10.800					0.063	
	ロス率18%を考慮							1.18					0.074	

注) カッター延長=(横+縦) × 2 × 箇所を基本とする

■断面修復工 (左官工法)

断面修復 (面積)	=	2.100 m^2
カッター延長	=	10.800 m
はつり工	=	0.063 m^3
プライマー工	=	2.100 m^2
断面修復 (体積)	=	0.074 m^3

(3) 断面修復工 集計表

断面修復工	単位	剥離・欠損	合 計
断面修復工 (面積)	m^2	2.100	2.100
カッター延長	m	10.800	10.800
はつり工	m^3	0.063	0.063
プライマー工	m^2	2.100	2.100
断面修復工 (体積)	m^3	0.074	0.074

(4) 殻運搬 (※ 運搬処理工にて計上)

コンクリート構造物

$$V = 0.063 \text{ m}^3$$

※ 殻数量は、断面修復数量と同量と仮定した。

(5) 殻処分 (がれき類) (※ 運搬処理工にて計上)

$$V = 0.063 \text{ m}^3$$

$$W = 0.063 \times 2.35 \text{ t/m}^3 = 0.148 \text{ t}$$

§ 6. 護岸工数量計算

6－1. 石積積直し 桁高 $h < 1.5\text{m}$ (練石積)

(1) 石積工

$$A = 3.000 \times 0.60$$

$$\begin{array}{r} = 1.800 \text{ m}^2 \\ \hline \Sigma A = 1.800 \text{ m}^2 \end{array}$$

(2) 胴込コンクリート

$$V = 1.800 \times 0.117$$

$$\begin{array}{r} = 0.211 \text{ m}^2 \\ \hline \Sigma V = 0.211 \text{ m}^2 \end{array}$$

(3) 護岸工数集計表

石積積直し	単位	合 計
石積積直し	m^2	1.80
胴込コンクリート	m^3	0.211

§ 7. 構造物取壊し工

7-1. 構造物とりこわし工

(鉄筋構造物 人力施工)

(1) 断面充填工

$$V = 0.088 \text{ m}^3$$

(2) 断面修復工

$$V = 0.063 \text{ m}^3$$

$$\Sigma V = 0.151 \text{ m}^3$$

7-2. 殻運搬

(鉄筋構造物 人力施工)

コンクリート構造物

※ 運搬は、「運搬距離10km DID区間:無し」程度を想定。

(1) 断面充填工

$$V = 0.088 \text{ m}^3$$

(2) 断面修復工

$$V = 0.063 \text{ m}^3$$

$$\Sigma V = 0.151 \text{ m}^3$$

7-3. 殻処分

(無筋構造物 人力施工)

コンクリート構造物

(1) 断面充填工

$$V = 0.207 \text{ t}$$

(2) 断面修復工

$$V = 0.148 \text{ t}$$

$$\Sigma V = 0.355 \text{ t}$$

(3) 護岸工数集計表

構造物取壊し工	単位	合 計
構造物とりこわし工	m ³	0.15
殻運搬	m ³	0.15
殻処分	m ³	0.15
	t	0.36

§ 8. 仮設工数量計算

8－1. 吊足場 桁高 $h < 1.5\text{m}$ (板張り防護、シート張り防護)

(1) 上部工 維持塗装吊足場

$a1 = 12.470$ CAD計測より

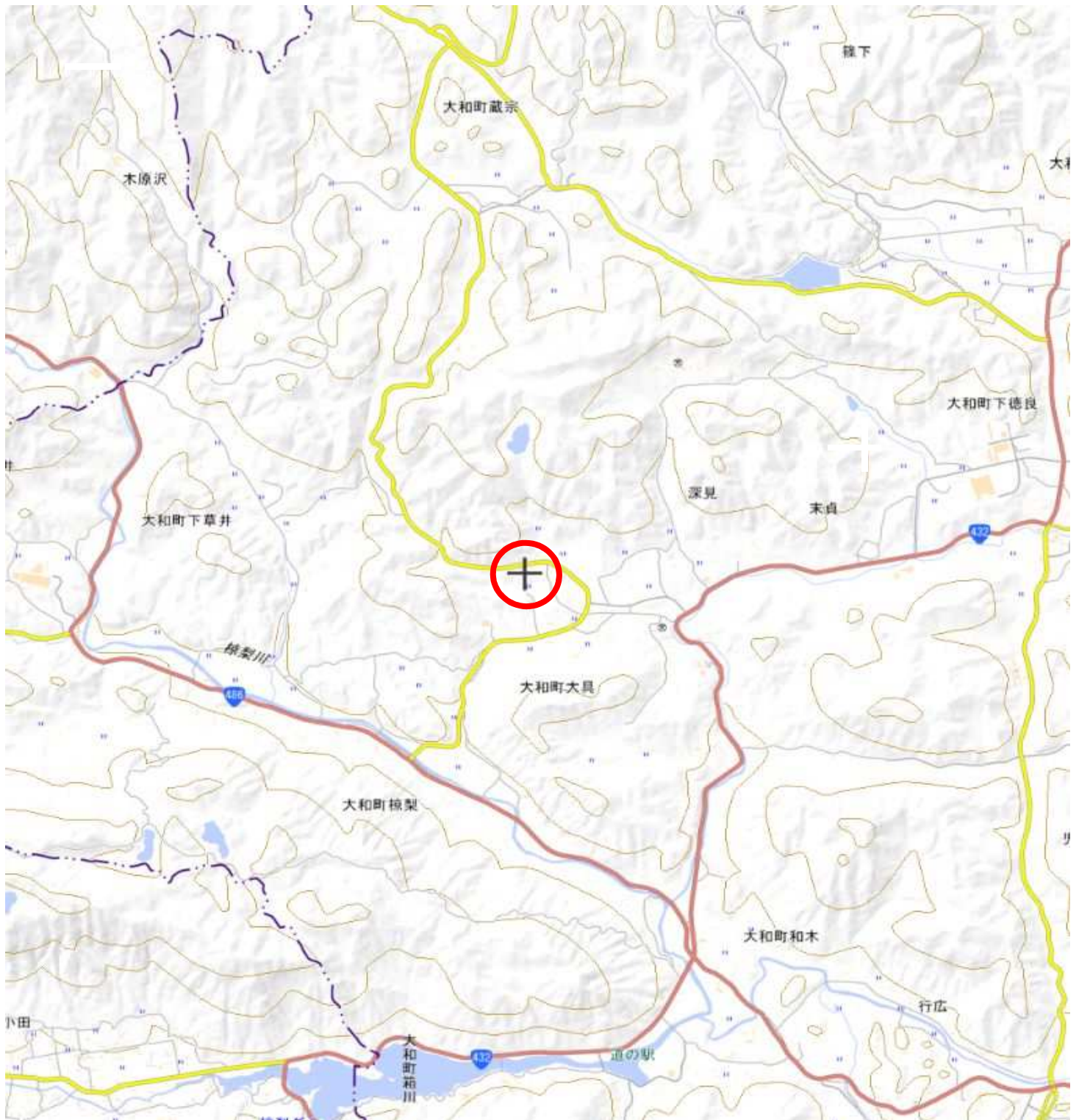
$= 12.47 \text{ 掛} \text{m}^2$

$\Sigma A = 12.47 \text{ 掛} \text{m}^2$

(2) 仮設工数集計表

吊足場	単位	合 計
桁高 $h < 1.5\text{m}$	掛 m^2	12.47

位置図



34. 539019, 132. 906026